

平成25年8月4日
今週のベストショット



青松園A ブルーマーリンズ対三苦ホーネッツ戦
雨が心配される中、この日4盗塁を決めるホーネッツ矢野選手
写真 三苦三球会 中村元

青松園B 奈多フェニックス完封リレーで完勝！！

ソルトベイスターズ（2勝4敗1分）000000 0 中村耕●一酒井
奈多フェニックス（5勝1敗1分）11521X 10 池見○、今林勇一実延新
HR:西藤、今林英（奈多フ） 2BH:西藤、今林勇（奈多フ） 盗塁:今林勇（奈多フ）

雷が鳴り、雨が心配される中試合開始。一回表ソルトベイスターズは3者凡退。一方、その裏のフェニックスの攻撃は、二死ランナーなしから三番今林勇選手の二塁打、さらに相手捕手の隙をついての盗塁で三塁まで進む。そこで四番実延彰選手がレフト前のタイムリーヒットを放ち先制点を奪う。二回表、ソルトベイスターズは先頭バッターの四番中村耕選手、五番坂本選手のヒットで無死一二塁のチャンス。その後、一死から七番石井選手のライト前ヒットで一死満塁とチャンスを広げる。続く八番森選手は強烈なサードライナー。飛び出した三塁走者もアウトになりダブルプレーでチャンスを生かせず無得点で終了。その裏、フェニックスはヒット、エラー、死球で同じく一死満塁のチャンスを作る。ここで、一番西藤選手は四球を選び押し出しで1点追加。さらに追加点を狙うフェニックスは二番高原選手。打った打球は強烈なライナー。レフトへ抜けると思いきや、ショート八柄選手の超ファインプレーで追加点を阻止。続く、三番今林勇選手は鋭い打球を飛ばすも、ライトライナーで3アウト。押し出しの1点のみで攻撃を終了。三回表ソルトベイスターズは、ヒットで1人出塁するもフェニックス池見投手に抑えられ得点出来ず。その裏フェニックスは、二回に続き一死満塁のチャンス。八番池見選手は四球を選び押し出しで1点追加。続く九番沖選手の当たりは浅いセンターフライ。ここで、三塁走者の実延新選手の激走。タッチアップ成功でさらに1点追加。続く一番西藤選手の3ランでこの回5点を奪い完全にフェニックスが試合を支配し、五回コールドで試合終了。投打が噛み合い、フェニックスの強さを感じる試合になった。

（記事：奈多サンデーズ 野田俊憲、写真：木下隆弘）



一回表、フェニックス池見投手V s ソルト酒井選手。



二回表、一死満塁でのソルト森選手の打席。



二回表、見事なライト前を打ったソルト石井監督。



三回裏、3ランを打ったフェニックス西藤選手。



三回裏 激走?で魅せたフェニックス実延新捕手。



四回裏、中越えのHR! フェニックス今林英二選手。



ソルト先発中村耕投手。



フェニックス先発池見投手。

青松園A 三苫ダービーはホーネッツが横綱相撲で快勝！

ブルーマーリンズ 0 0 0 0 0 0 0 網脇●—中村
三苫ホーネッツ 1 1 0 1 5 X 8 井手○、矢野—松尾

3BH：隈崎（三苫ホ） 2BH：堺、広木（三苫ホ）

盗塁：末松（ブルー）、矢野×4、洲上、山崎、広木、谷山（三苫ホ）

今にも雨が降り出しそうな怪しい雲行きの中、やや早めのプレイボールとなった三苫ダービーは、先攻ブルーマーリンズの一審末松選手のヒットで幕を開けた。得点圏にランナーを進めたいブルーマーリンズは、続く中村選手に送りバントのサイン。しかし、ホーネッツ堺三塁手と稲葉遊撃手の見事な連携でセカンドフォースアウト。続く三審井上選手の打球もレフトとショートの間落ちるヒットかと思われたが、またもホーネッツ稲葉選手のファインプレーでランナーを進められず2アウト。続く四審糸井選手はセンターフライに打ち取られ先制のチャンスを生かせなかった。対照的にその裏のホーネッツは、先頭打者の矢野選手がセンター前ヒットで出塁すると、進塁打、盗塁、相手エラーを絡め1点を先制。さらに続く二回裏にも、四球で出塁した七審谷山選手を九審堺選手がタイムリー二塁打で返し追加点。四回には3安打を固め中押しとなる3点目を上げる。五回には、七審谷山選手、八審隈崎選手、九審堺選手の三連打を含む5安打を集中、ダメ押しとなる5点を奪い、ブルーマーリンズを8対0で降した。ブルーマーリンズ打線はホーネッツ井手投手の前に散発3安打と完封されてしまい、粘り強い投球を続けていた網脇投手を援護することが出来なかった。一方、ホーネッツは二桁安打に8盗塁と持ち前の打力と機動力を遺憾なく発揮したゲームだった。（記事：三苫三球会 小倉圭太 写真：中村 元）



一回表、Bマーリンズ一審末松選手ヒットで出塁。思わず笑みがこぼれる。



一回表、ホーネッツの堺三塁手と稲葉遊撃手の連携で、Bマーリンズ送りバント失敗！



一回表、Bマーリンズ三審井上選手の打球を背走しながら見事にキャッチしたホーネッツ稲葉遊撃手。



一回裏 二死後ホーネッツ広木選手のセンターフライを、Bマーリンズ糸井中堅手が落球。先制を許してしまう。



二回裏、ホーネッツ九番堺選手の三塁線を抜ける
2BHで追加点を奪う。



二回裏、ホーネッツ隈崎選手がホームを狙うも、
Bマーリンズの好守に阻まれタッチアウト。



三回表、技ありのセーフティバントで出塁の末松選手。



すかさず盗塁を決め、後続に託す末松選手。



四回裏、ホーネッツ矢野選手がスチールを決める。



五回表、満を持してBマーリンズ小柳監督が打席に立つが。



五回裏、先頭のホーネッツ四番に復帰した広木選手が、
右越え二塁打を放つ



五回裏、ホーネッツ八番隈崎選手のあわやHRかとい
う当りは惜しくも三塁打に。



五回裏、ホーネットス九番堺選手がこの日猛打賞となる
3本目のタイムリーヒットを放つ。



五回裏、代打で出場したホーネットス山崎選手がヒットで
出塁し、エラーに乗り進塁、そして三盗と抜け目なし。



Bマーリンズ打線を3安打に抑えたホーネットス先発
井手投手。



終盤に打ち込まれたものの、それまで粘りの投球を見せた
Bマーリンズ網脇投手。



(おまけ) 猛打賞だから写ってもいいかなってな感じで巖生さん。

雁レク9 両チームとも引かず痛み分け！

塩浜ジャガーズ（1勝3敗3分）20300 5 内田、立石－堀内
奈多クラブ （4勝0敗2分）02120 5 今林（瑠）－安河内

3BH：立石（塩浜ジ）今林祐（奈多ク） **2BH**：立石（塩浜ジ）

塩浜ジャガーズは初回、二番の内田選手が四球で出塁すると、三番の立石選手が右中間に抜けるタイムリー三塁打で早くも1点を先取。ここで四番の佐藤選手もすかさずレフト前へタイムリーを放ちこの回2点目を奪取。後続の五番荒木選手、六番田中選手も内野安打で続き一死満塁。このままの勢いで大量得点か？と思われたが、奈多クラブ先発の今林（瑠）投手が粘り、この回を2点に抑える。一方、奈多クラブは初回、三者凡退に抑えられるも二回裏に四番阿部（健）選手が四球で出塁。五番今林（健）選手もライト前にヒットで続き、無死一二塁とチャンスを作る。その後相手のエラーも絡んで1点を返すと八番砂場選手もタイムリーをセンター前にはじき返し同点に追いつく。三回表、ジャガーズの攻撃は当たっている三番立石選手からだが、ここでも右翼を超える二塁打でチャンスを作ると、七番岩崎選手のレフト前タイムリーと相手エラーも誘い3点を奪い返す。その裏、奈多クラブは一番今林（祐）選手からの好打順。その期待に応えるようにレフトを抜ける三塁打でチャンスを作り、この回1点を返し何とか喰らいついた。この粘りで四回裏も本日2本目となる今林（健）選手のヒッからこちら2本目となる今林（祐）選手のヒットで2点を奪い返し、またもや同点に追いつき、試合は振り出しに！！最終回は、両チームとも得点に結びつかなかったが、お互い譲らず痛み分け。朝から怪しい空模様で、一時小雨が降ったものの、何とか天候がもってくれたし、両チームとも負けなかったのは大きかったのではないかな？

（記事：三苦フレンズ 肥喜里一征、写真：生野拓磨）



試合開始前挨拶。



仮設ベンチでの奈多クラブナイン。



奈多クラブ先発、今林瑠生投手。



塩浜ジャガーズ先発、内田投手。



軽快な守備を見せる奈多クラブ今林健遊撃手。



セカンドゴロをさばく奈多クラブ阿部二塁手。

第12週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第12週、8月4日は3試合が行われました。

青松園Bのソルトベスターズ対奈多フェニックス戦は、唯一とっていい二回表の一死満塁のピンチをWプレーに取ったフェニックスが、自慢の打線の爆発もあり、2HRで10点を挙げ、0-10で勝ちました。フェニックスは、池見投手が四回5安打、今林勇太投手が一回無安打に抑え完封リレー。打撃部門で上位のフェニックス一番西藤選手も2安打1HR4打点を挙げています。

青松園Aのブルーマーリンズ対三苦ホーネッツ戦は、ホーネッツの打撃以上に井手投手のピッチングとその守備力が評価される一戦だった。0-8とホーネッツの圧勝のように見えるが、実は三回までBマーリンズ3安打、ホーネッツ2安打と五分五分の展開。スコアブックでは単なる凡打でも、記事や写真があるとそのプレーの重要性が分かりやすいですよ。ここで審判チームの三球会中村元氏の私に送られてきたコメントを紹介。

八島様

お疲れ様です。三苦三球会の中村です。

昨日の記事と写真を送ります。

今回はあまり良い写真が撮れませんでした。何ででしょうね。結構、試合に見入っていたかもしれません。

普通に考えるとホーネッツがBマーリンズに敗れることはないと思うのですが（ブルーのメンバーには失礼ですが）、昨日は中盤まで「ひょっとして何か起こるかも！」と思うような試合展開だったんですね。スコアブックを見れば、そりゃホーネッツの圧勝でしょうけど、ブルーはなかなか粘っていました。ベンチからの指示も1打席1打席、場合によっては1球1球ごとに細かく出ていたし、とにかくベンチからよく声が出ていた気がします。ホーネッツが、綱脇さんの球を打ちあぐねている間に1点でも返していたらなあ。中盤、あまりに乗り切れない選手にホーネッツの中村監督がかなり厳しく檄を飛ばしていましたし、Bマーリンズは初回のイージーフライをエラーして先制点を与えたのは痛かった気がします。あとホーネッツの稲葉君の守備がこの日はキレキレで、Bマーリンズはチャンスを全て断ち切られていた感じがしました。素人目線ですが、実際の点差ほど開いた試合には感じませんでしたよ。

てなわけで、毎回写真が多目なので間引いて下さいね。よろしくお願いします。

とのことでした。私はBマーリンズが途中息切れしない体力を期待します。

雁レク9の塩浜ジャガーズ対奈多クラブ戦は、ジャガーズ9安打、奈多クラブ5安打で5-5の引き分け。常に先手先手を取るジャガーズに何とか喰らい付き同点で終えた奈多クラブの好調さが伺えます。ヒットは少なくとも効果的なヒットが多かったのでしょうか。ここで驚くべき事実を発表。ここまで4勝0敗2分の奈多クラブは打撃主要部門で打点部門の今林祐将選手が8打点以外誰も上位に顔を出していません（7月28日現在）。ということはどうやって負けない戦いをしているのでしょうか？そこを見抜けば、唯一黒星がない今季の奈多クラブに土を付けられるかもしれませんね。

今回、雁レクで試合をした方々はお気づきだったかもしれませんが、8月4日はインターハイのソフトボール（男子）の会場が雁レクだったんですね。地元福岡からは九産大九州高校と筑紫台高校の2チームが出場していました。若い選手の熱いプレーを見たかったのですが、気づいたのが試合後に送られてきた写真でしたので、残念。

ちなみに結果の方は下記のアドレスをクリック。

全国高校総体ソフトボール（男子）

http://school.js88.com/bukatsu/h_convention.asp?id=25563&result=on

甲子園大会も始まりましたし、九州勢の活躍も光ります。

この勢いでWSLも盛り上がっていきたいものですね！

日本全国で、猛暑と突然の雷雨・豪雨で甚大な被害が出ています。福岡は今のところ雨の影響はありませんが、十分注意しましょう。